第３９号　　能代市立二ツ井小学校　　令和５年２月１０日

卒業の足音がひたひたと…
最上級生の自覚をもって
～全校のために最後までがんばっています～

校報 ふたつい

◇みんな仲良し　夢ある子ども◇
ふるさと大好き、ふれ合い支える子
たのしく学び、考える子
つよい心で、やさしい子
いつもすこやか、元気な子

発行責任者
二ツ井小学校
校長　安部芳幸

二ツ井小の伝統をしっかりと引き継ごう

まだ2月ではありますが、今週は春を感じさせるような暖かい日が何日かありました。学校では、進学、進級に向けて、いよいよ今年一年間のまとめの時期となります。

６年生の教室前には、卒業式までのカウントダウンカレンダー（６年生が作成したもの）が飾られています。毎日、一枚ずつ増えていきますが、残り〇日というカレンダーを見ると、なんだか寂しくなってきます。

そんな６年生ではありますが、委員会の活動にも積極的に取り組んで、最上級生として最後まで責任をもってがんばっています。２月７日（火）の読書タイムには、給食委員会の６年生が、全校に向けた児童会だよりを作っている最中でした。

今月の21日（火）には、「６年生ありがとう集会」が行われる予定です。これまで、二ツ井小のリーダーとして全校を引っ張ってくれた６年生に心から感謝することができるよう、５年生を中心に準備を進めていきます。二ツ井小の伝統をしっかりと引き継いでほしいと思います。

他の学年もがんばってます

【４年生】

「外国語活動」の様子です。学んだ英語を使って友達と会話をしています。５年生になると「外国語活動」は「外国語」になり、もっと専門的な勉強になります。

【１年生】

昼読書の時間は、友だちの読み聞かせをずっと積み重ねてきた１年生。この日は、担任の櫻庭先生の読み聞かせでした。立派な姿勢で、櫻庭先生の読み聞かせに集中している１年生でした。

学校全体が、進学と進級に向かって進んでいます。この三学期が、新年度にしっかりとつながっていくように、先生たちと話し合って取り組んでいるところです。

子どもたちのレベルアップした姿を、２月24日（金）の学年末PTAでお見せできればと思っています。

栄光の記録

◆令和４年度黒石市ジュニアフェンシング大会◆
＜小学生高学年女子の部＞
第１位　　菅原ほのかさん（４－１）
おめでとうございます！

６年生から

バトンパス！

発見！　みんな仲良し　夢ある子ども 16

今週も気持ちのよいあいさつをしてくれた子どもたちがいました。

あいさつは、よく「顔と顔を合わせてしましょう」とか、「相手の目をみてしましょう」とか言われますが、例えば、何か作業をしていると、顔や目を見てあいさつすることは難しいです。また、そういった作業をしている人（対面していない場合）に対してあいさつをすることもちょっと勇気がいると思います。

私が若かりし頃、同職した先輩から、「背中からあいさつされる教師になれ」と教わりました。子どもとの信頼関係ができると、子どもは先生が自分を見ていなくても、目が合わなくても、自然とあいさつをするようになるとのことでした。

今週は、３年生と５年生が私の背中側からあいさつをしてくれました。やっぱり、嬉しいものですね。

子どもたちは、通学路で工事作業をしている人や家事をしている人と出会うことがあると思いますが、そういった人たちに「おつかれさまです」や「こんにちは」と声をかけて、地域を元気にしてほしいと願っています。

□■あとがき■□

前回、３年生の総合学習の記事を紹介しましたが、ゲストで来てくださった菊池一二三さんをお迎えするために、３年生の七尾宗祐さんが、黒板に絵を描いてウェルカムボードを作成してくれました。お世話になった地域の方々に感謝の気持ちが伝わりました。ありがとう！